

ロシアのほんの一部紹介

佐藤厚子

1. サンクトペテルブルグに行ってきました

土質工学に関する国際会議(擁壁と凍上のテーマがあり、ここに研究内容を報告しました)に参加する機会があり、ロシアのサンクトペテルブルグに行ってきたので、この都市について少し紹介します。サンクトペテルブルグは図-1に示すように、ロシアの西側で、海(バルト海)に面している港町です。人口は5,028,000人で、帝国ロシア時代には首都でした。サンクトペテルブルグへの行き方はいろいろありますが、私は、大韓航空を利用しました。大韓空港を利用すると千歳空港から仁川空港で乗り継ぎ、時差もあるのですが、その日のうちにサンクトペテルブルグへ着くことができます。体にとって大変優しい行程です。

私が行ったときは、6月の中頃で、ちょうど観光シーズンのまただ中でした。また、白夜のころで、朝4時くらいから夜11時くらいまで明るく1日がとても長いため、得した気分でした。



図-1 サンクトペテルブルグの位置

2. 両替

外国に行くときは、行く先の通貨を事前に両替して持って行くか、行った先の空港で両替するかのどちらかにします。行った先のプルコヴォ空港で両替するつもりである程度日本円を持って行きました。

しかし、プルコヴォ空港の両替所では、ユーロと米ドルのみの取り扱いしかありませんでした。私はもちろん日本円しか持っていませんでした。もし、私が一人で行っていただなら、大変なことになっていました。お金がないので、空港すら出ることができませんでした。しかし、一緒に行った人が国際的な人であり、米ドルを持っており、何とか事なきを得ました。

市内のホテルには、カードを利用したキャッシングができる箇所や銀行も数多くあり、市街地に入れば何とかあります。

3. サンクトペテルブルグの交通手段

(1) タクシー

外国に行かれる方はタクシーを利用される方が多いと思います。私も一緒に仕事に行った人とタクシーに乗りました。空港にはタクシーに乗るように誘っているたくさんの客引きがいました。このタクシーに乗ると交渉して、たぶんたっぷりお金を取られるのだと思います。しかし、空港には、料金が決まっているタクシー窓口があると聞いていたので、そこを利用して無事、通常の料金で市内のホテルにたどり着くことができました。

(2) 地下鉄

サンクトペテルブルグには地下鉄があります。1955年に開業したもので、多くの装飾でいっぱいでした(写真-1)。サンクトペテルブルグの地質的な理由により、世界で最も深いところを走っているとのことです。中でも、空港に近いアドミラルティスカヤ駅付近では、地下105mの深さを走っているようです。このため、エスカレータがものすごく長く(写真-2)、そしてとても速いと感じました。また、何度か地下鉄に乗りましたが、どこでもエレベータを見つけることができませんでした。また、長い

エスカレータなので転倒が気になりました。車いすの人や高齢な人、小さなお子さんは大変だろうと思いました。



写真-1 サントペテルブルグの地下鉄のホーム
(すてきな装飾)



写真-2 サントペテルブルグの地下鉄への
エスカレーター(下が見えない)

路線は充実していて、結構な距離を運行していますが、1乗車当たり、28ルーブル(約84円)の定額で、とっても安い感じがしました。

軌間は、ロシアの鉄道では標準的な1,520mmですが、この幅は日本の新幹線1,435mmよりも広く、電車の中は確かに少しゆったりした感じでした。

地下鉄には時刻表がなく、常に前の電車が行くと次の電車が来るといった感じです。1回の電車は札幌の地下鉄と異なり、たくさんの車両がついていま

した。しかも、いつもほぼ満員(ぎゅうぎゅう詰めではないけどまわりはほぼ人でいっぱい)でした。夜間の満員度合いはわかりませんが、札幌の地下鉄を想像すると、たぶん12時の終電までこんな状態であったと思います。これだけの人が乗れば赤字にはならないかも……

(3)バス、トロリーバス、路面電車

地下鉄の他に、バス、トロリーバス、路面電車も縦横無尽に運行していました。乗ってみたい衝動に駆られましたが、勇気がなく冒険しませんでした。バス停や電停を見ましたが、やはり定時の時刻表はなく、走行間隔のみ示していました。バス停にいる人の様子を見てみると、乗るバスが来たら、合図をしているようでした。これらの交通機関も1乗車当たり28ルーブルの様でした。

4. まちなみ

(1)道路の様子

札幌市の道路は碁盤の目になっていて、住所がわかれば目的地に簡単に着くことができます。札幌に住み始めたころ、友達にすぐに札幌の街を歩けるようになるよといわれたものでした。しかし、サントペテルブルグの街は、驚くほど碁盤の目になっていませんでした。一見、碁盤の目のように道路が整備されているようでしたが、なかなか思い通りに行きたいところには行けませんでした。その上、大小の川が街の中を流れており、何ともぐちゃぐちゃな感じがしました。札幌の道路に感謝です。



写真-3 街中を流れる川

街の中の道路はとてもきれいでした。路面清掃の車がきれいにしているのを見ました。



写真-4 路面清掃車

サンクトペテルブルグの信号は非常に短かったと思います。渡り始めるとすぐにピコピコと点滅しました。しかし、車を運転する人は、結構徹底して歩行者を優先しているようでした。ちょっとした道路を横断するとき、必ず停まってくれました。日本では、クラクションを鳴らされることもあります……

(2)電線

サンクトペテルブルグの街中に電柱は少ないと思いました。しかし、たくさんの電線があります。街灯は、建物に直接くっついた形になっていましたし、信号機は電線にぶら下がっていました。

(3)住宅

サンクトペテルブルグの中には戸建住宅を見つけることができませんでした。ほとんどが集合住宅で



写真-5 建物からのびた電線

した。日本国内では、いくら都会でも戸建住宅があると思います。たまたまなのかもしれないのですが、私の泊まったホテルも集合住宅の1、2階であり、大きな扉を開けると階段が見え、階段の上はアパート(マンション)です。階段を上らず、左に曲るとドアがあり、その先がホテルでした。このドアも日本でいうホテルという感じはしませんでした(もちろん一目瞭然ホテルとわかるのもありましたが……)。



写真-6 私が利用したホテル(3階以上はアパート)

住宅の雨水排水装置がとても気になりました。屋根の上から地面にまで筒が下がっており、その先の歩道のくぼみに水が流れていくようになっていました。



写真-7 雨水排水装置

(4)街で見つけた緑化

仕事でちょっと緑化のことをかじっているせいかに気がなった緑化がありましたので、ご紹介します。ビルの窓の下の緑化風景です。窓の下のほんの小さなスペースですが、こんなにきれいに芝で緑化していました(人工芝じゃないですよ)。



写真-8 窓の下の緑化風景

(5)工事現場

工事現場の囲いを紹介いたします。すてきな建物が書かれた布みたいなものに覆われていました。そういえば以前行った場所(ケベック)でもそんな光景が見られました。

写真-10は、河川の堤防工事の様子ですが、日本と全く変わりなかったです。



写真-9a. まるでそこに建物があるような雰囲気の中での建物の工事



写真-9 まるで公園のような雰囲気の布



写真-10 河川の護岸工事

(6)トイレ事情

何度かロシアに行ったことがありますが、ロシアのトイレ事情はとても悪いと思います。街中に無料のトイレはほとんどありません。地下鉄にもありま



写真-11 市内の貸しトイレ(バスを改造した感じ)

せんでした。利用する場合は 20 ～ 30 ルーブルを払ってトイレを借ります。しかし、トイレは決して使いやすいとはいえないもので、便座やトイレトペーパーがないのはほぼ当たり前です。トイレトペーパー付でしかもとってもきれいなトイレが無料でしかもどこでも借りられる日本はとても良い国だと痛感しました。

5. ロシアの方々との交流

晩ご飯の後ホテル向かいの立ち飲みやさんに行ってみました。驚くことに昼 1 時から夜 1 時まで 12 時間営業のお店でした。何でもとってもお安く、お酒はだいたい 200 円程度でした。何度か通ううちお店の人やお客さんと親しくなり、最後には、バルチカビール(ロシアで最も有名なビール、日本でいえばサッポロビールのようなもの)のグラスをおみやげにいただきました。



写真-12 交流を深めた立ち飲みやさんとバルチカビールのグラス



写真-13 交流を深めた方々

佐藤厚子(さとう あつこ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

独立行政法人 寒地土木研究所

